

十月移動例会報告

紅葉の映える10月14日、今年度の10月例会を「四国東予の旅」と称して現代表建築と昭和の遺物の見学に出かけました。参加者は25名(正会員9名・賛助会員15名・事務局1名)でした。リョービツアアバスの協力により岡山駅西口を予定通り午前8時に出発しました。バス内では各委員会・同好会報告があり、お茶・おつまみ・アルコール飲料(最初の見学地までは缶ビール一本まで)で喉を潤し、瀬戸大橋経由で四国路に入り最初の見学地「愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター」(四国中央市妻島町)を見学しました。その施設は木造大断面集成材で造った建物でサッシも木製でデザインもよく優れた建物でした。

当初の計画はもう1ヶ所木造大断面建物を見学する予定でしたが、地区の秋祭りの為計画変更しましたが、案の定、次に向かう途中の国道11号で地区の秋祭り(西条祭り)に似たようなもの)の大きな乗車(だんじり)普通は山車)と遭遇し、バスが前に進むことができません。そのうち子供乗車まで登場しその地区は秋祭り一色でした(当日は普通日ですが学校は子ども全休との事、次の見学地で色々な地区の秋祭りのポスターが見受けられました)。

「別子銅山跡地マイントピア」(新居浜市立川町)で昼食後、銅山跡地の一部をトロツコ列車で見学です。洞窟の中で展示品には思っていた通り銅山での先人の苦労は少し目に潤うものがあります。歴史を勉強するには一日は予定したい場所ですが時間が少ないのがちょっと残念でした。

今回は20社様からの支援品(缶ビール120缶、酒・焼酎1升瓶4本、酎ハイ他36缶、ワイン類7本、ノンビール・ミネラル48缶、他お茶おつまみ多数)を頂きましたが、午前中は消費量も少なく、昼食時は差し入れとは別に瓶ビールを飲んだので持ち帰りが多いかなと不安になりましたが、帰りに高松港からわざわざフェリー利用(誰の発案かわかりませんが)したことでこの小一時間の船旅でわずかに残して全ての支援品がなくなりませんでした。とても怖く楽しいです。船上での懇親は和気藹々と楽しく過すことができました。見ず知らずの人と懇親する会員もいました。

そしてフェリー甲板上からの錦秋の瀬戸内の真つ赤な夕陽はとても素晴らしく美しさで落日の儂さがありました。最後のルートで児島湾大橋からの岡山市内遠望の夜景、眼下の四ツ手網漁の漁り火を見ながら無事に帰ることができました。

テーマ：交流委員会 江川 治男



OKC川柳 お題「ノーベル賞」

- ・ ちよつとまで さどうえいさく なんてすの (核バズーガ)
- ・ ノーベル賞 受賞者の名前 孫の名付 (孫三郎)
- ・ やせ薬 開発できたら ノーベル賞 (Mr. Boo)
- ・ あの日見た 夢は正夢 だったよな (夢想家)
- ・ ノーベル賞 ノーベル賞って なんなのよ (SS)
- ・ 我が家では 子供たちの笑顔ひとつひとつが ノーベル賞 (本工屋の人)
- ・ 去年ダメ 今年もダメか 次回こそ (村上春樹)
- ・ ノーベル賞 日本の誇り 嬉し泣き (小さな島国日本)
- ・ ニュートリノ 一人の努力 焼き鳥の (トリノ生まれ)
- ・ 事故のない 現場できれば ノーベル賞 (重たいニュートリノ)
- ・ 内助の功 わたしも受賞 助けたい (初老)
- ・ ハルキスト 次取らなきゃ 春樹スト (ダイナマイト)
- ・ コツコツと 弛まぬ努力の 結晶かたら かな (たにさん)
- ・ もらいたい ノーベル家庭 平和賞 (Right 3)
- ・ 会社員 定年迎え ノーベル賞 (リーマンショック)
- ・ クリスマス 今宵のワタシは ダイナマイト (そめごろう)
- ・ 皮下脂肪で 発電できたら ノーベル賞 (ゲンゴロウ丸)
- ・ ベルが鳴る 鳴らしてみせる ノーベルか。 (ノーサイド)
- ・ 日本中 喝采呼んだ ノーベル賞 (Oさん)
- ・ ひらめいた 10秒間だけ ノーベル賞 (いつかはボクだって)
- ・ ノーベルの 餡を舐めたら とれるかも (湯川博士受賞者 社名より)

建球会報告

平成27年11月26日(木)後楽ゴルフ倶楽部にて第47回建球会ゴルフコンペを開催しました。前日は雨だったので天候が心配でしたが、当日は時折秋の日差しが差すまずまずのゴルフ日和でした。

優勝 丸岡 正季(岩水開発株) I N 45 O U T 43
H D C P 21 N E T 67

準優勝 長与 吉弘(平松エンタープライズ株) I N 45
O U T 53 H D C P 24 N E T 74

三位 長島 誠(日東物産株) I N 45 O U T 52
H D C P 22 N E T 75

N P 賞 丸岡 正季、長与 吉弘、横田 亜都伯(株)コク
エィ、宮田 孝洋(株)中建日報社)

D C 賞 辻 政宏(岡山ガス株)、横田 亜都伯

開催時期を4月(春)9月(秋)した方が参加しやすいくという声があり、参加者から賛同をいただきましたので、検討したいと思います。

建球会会長 和田 洋子

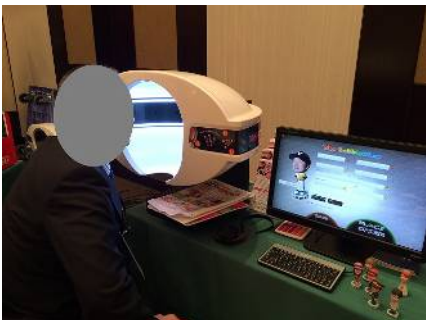
写真「私の思う最新技術」



『瀬戸内国際芸術祭2010』、男木島の民家の元家畜小屋だったと思われる場所に展示されていた松本秋則さんの『音の風景』という作品。鳥の羽根(鈴も所々に添えられています)の内側に内蔵された超小型のモーターにより、ランダムに振動し鈴の音色が聞こえます。しかし、この驚異のモーター。これまで需要のあった製品がデジタル化され、現在では入手が困難とのことです。



「歴戦の缶詰」最新技術のキッチンの「セラミックトップ」。焼き物のセラミック製のキッチン天板が如何に丈夫かをデモンストレーションするために天板上に缶詰を落下させるのですが、缶詰のほう悲鳴を上げた結果です。



「最先端の3次元写真かな? 3Dプリンターフィギュア創ってみました。」



「最新洗濯機」ボタン類も見えない仕様でインテリア性高+強力な洗浄力。これだったら洗濯頑張ります。